

龍尾壇

龍尾壇の垣は赤い漆塗りに、箔押しと彫刻が施された金属細工が装飾されており、中庭の手前の部分と高くなっている内側の部分を区切るように配されています。高くなっている区域の左右にあるのが白虎楼と蒼龍楼で、正面奥にある大きな社殿が大極殿です。

天皇御所の正庁・朝堂院において、大極殿は最も重要な儀式や国政のための特別な場所であり、天皇の玉座があった場所です。そのため、当時の天皇御所では、高い位階を任じられた貴族のみ、中庭の高くなっている先への立ち入りや、大極殿へ近づくことが許されていました。この垣は、参拝者が祈りを捧げる場である奥まったエリアを区分しています。

龍尾壇を上がり左側にあるのが、白虎楼と神苑への入口です。